

OSK KHJ岡山きびの会

平成12年9月20日 第3種郵便物認可(毎月25日発行)

平成28年10月30日 OSK増刊通巻482号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第157号(平成28年10月)



『KHJ岡山きびの会』のご案内』

2016年度 年会費 正会員 6000円 賛助会員 3000円
月例会参加費 正会員 500円 正会員以外の方 1000円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 川島焓三 〒708-0821 津山市野介代526-30 【電話】090-7541-5263

居場所 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4階(市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)
月・水・土曜：午前11～午後4時、金曜：午後1時～6時(詳しくは巻末をご覧ください)

「KHJ 岡山きびの会」の願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

<10月例会のお知らせ>

日 時 平成 28 年 1 0 月 9 日 (第 2 日曜日) 午後 1:00~4:00
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内容 ● 演題 「ひきこもりからの脱出経験で思うこと」
講師 小山光洋さん (吉備国際大学 2 回生)
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

<11月例会のお知らせ>

日 時 平成 28 年 1 1 月 1 3 日 (第 2 日曜日) 午後 1:00~4:00
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内容 ● 演題 「現在、苦しんでいるあなたへ!!」
講師 山本利美さん (全国WEBカウンセリング協議会心理カウンセラー)
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

家族教室に参加して思うこと～気づくことを体験したい～

KHJ岡山きびの会家族教室担当 西紀子先生

皆さん こんにちは。家族教室を担当しています西 紀子と言います。今日は金光直美さんと二人で参りました。他にも何人か居られますが、今日は体調を崩したり、用事があつたりで参加できていません。そこでまず私が家族教室に係わってきた想いをお話し、後で金光さんの想いをお願いします。

1. ご縁の不思議さ

私は長い間学校の養護教員をしてきましたが、ある海外ツアーに参加した時、素晴らしいご夫婦にお会いしました。旦那さんが奥様のことを優しく気遣って居られるのを見て、「素晴らしいご主人ですね!？」とぼろっと言ってしまいました。すると「彼は九州男児で、私は難波女よ」と言われました。九州男児と言え、男の誇りを表す代名詞のようですが、難波女と言え、女の誇りを表す代名詞です。これは何かのご縁で、そんなご夫婦ができたのでしょうか。その奥様は「ご縁って大事ですよね!!」と言われました。私たちはそんなご縁で結ばれています。この会の今日のこのご縁も、皆様の家族のご縁も皆何かのご縁で成り立っています。そんなご縁で大切に扱われていると、女性も悪くなり様がありません。「喧嘩なんかしないんでしょう?」と聞くと、「喧嘩もできないような夫婦じゃ味気ないでしょう」と言われました。意見の衝突があっても、その思いやりが相手を思いやている事がお二人の姿ににじみ出ているそんな姿をお見かけしたわけです。

何が言いたいかと言うと、夫婦でも、親子でも、この会の皆さんとも何かのご縁で私たちは繋がってきたわけです。その繋がりを強くしてもよいし、緩めてもよいわけです。そういうご縁の中で、金光さんとも偶然の出会いから家族教室に来られるようになりました。その金光さんが家族教室に参加されてきた想いをお話してくださいませ。それではお願いします。

2. 金光さんのお話し（用意されてこられた原稿）

私は家族教室に通い始めて5年ぐらゐ経つ金光と申します。今日は西先生と二人だけの出席となり少し寂しくそして緊張しています。

家におります子どもは30歳を目の前にした娘です。中学1年の時から現在に至るまで15年以上家で過ごしています。学校に行けなくなって最初の頃は何か何だか分からないまま、私は何時になったら外に出ていくのかと思うばかりでした。

ご多聞に漏れずアチコチと右往左往致しました。フルタイムで仕事に行っておりますので、出かけて行くにも限度があるのですが、それなりに動き回りました。時にはA市のB先生に通い、年間位で100万円程かけてみたりもしました。藁をも掴む思いだったので、高いとか全然思わずに使いました。が、なかなか結果が出ませんでした。今にして思えば、全く見当はずれなものを期待していたのですから、結果など出る筈がありません。今だから見当はずれと言えますが、そのことに気付くまでにずいぶん時間がかかりました。まだまだヨチヨチ歩きの私です。

とは言いながらも、先月の家族会で話したことは、娘が青空市で買ったエゴマの葉を娘の承諾も取らないで食べ方を勝手に私なりに決めて買い物をして帰り、娘に随分と叱られました。娘は韓国風の焼き肉を想像していたのに、私が勝手に安い鶏肉をさっさと準備してしまいました。まだまだそんな初歩的な押し付けを、何の疑問も待たずにやってしまいます。そのことを家族教室で話しました。西先生は「よく気づけましたね!」と評価して下さいました。

そんな私ですが、今ではその私を力強くサポートしてくれている存在がいます。24時間つきっきりで育てたネコです。今では4歳になりましたが、4年前には生まれて直ぐに捨てネコされた子ネコでした。おしっこもミルクも「引きこもりだからできるワ」と

24時間つきっきりで育てあげ、今では大変な癒しを提供してくれています。見返りを全く期待しない姿勢には見習うべきものがあります。それは仏教の悟りにも似ているとさえ思えるほどです。

先日の奥地先生の推薦された本「不登校・ひきこもりを生きる」を読みました。そこにはこんなことが書いてありました。日本の学校システムは第二次産業のために作られてきました。それは現在でも変わっていません。第三次産業社会の世には役立たない教育方法のようなのです。子供は肌で役立たないことを感じ、登校拒否が1970年代半ばから増加に転じたそうです。

「ひきこもりは家庭環境に要因があるのでしょうか」という質問にはこんな答えが返っています。「ひきこもりは自分と自分との間の対話ですから、多少とも引きこもらずには人は生きて行くことができないのです。言い換えるならば、家庭環境がどうであれ、人は必ずひきこもるということです。自分と自分との間で対話ができる子供に育ったのですから、むしろ喜ぶべきでしょう。」という記述すらあります。

「親は何をすべきでしょうか？アドバイスの要点はなんですか？」にはこういう答えです。こういう答えです。何をしたらいいかわからないときには、何もするなというのが鉄則です。安心できる居場所さえ用意できれば、後は親自身のためになることをすればよいのです。(以下割愛)

3. 家族教室の特徴 (気づくことを体験したい)

日本教育相談学会という会がありますが、その認定カウンセラーの資格を頂いたこともあって、きびの会の皆様の相談を受けることになったようです。その勉強会のグループでの話し合いで色々な体験をしてきました。金光さんもグループの体験をお話いただきました。私も現職中に20年を超えるほど長い間その学会のグループでの勉強会(泊りがけの真剣勝負)に参加してきました。その中で私は忘れることのできない辛い二つの体験をしました。そのグループの話し合いの時、他の人から「あなたは愛情が足りない」と言われました。自分ではそんな気はないのにそう言われました。また別の時には「あんた中途半端だなあ」とも言われました。自分はそんな気はないのにそんな風に言われたらショックです。この二つの指摘は本当に辛かったし、本当にこたえました。自分ではそうでないと思っているのに、そのように指摘されれば、どうしてかな・・・???・・・と考えざるを得ません。それがずーと今でも続いています。そのことがいろいろな立場の考え方があるということに気づかせて頂いているのではないかとと思っています。

家族教室ではそのようなやり取りの中で、お互いに気づき合うことができているのではないかとと思っています。私自身もいろいろ気づかせて頂いていますから、参加された方から「有難うございました」と言われたら、私こそありがとうございますという感じです。ですから家族教室は、月例会とは違い、出入り自由、暴力以外は非難・批判も自由で、受容と共感をしながらお互いに気づき合い、成長し合っていきたいと思っています。

4. いくつかの事例の紹介とグループワーク

参加者の中から子供とのやり取りで気づいたことをご披露して頂きました。それから二人か三人のグループに分かれ、一方の人が相手をけなしこき下ろすことと、次に褒め言葉を連発するというワークをしました。その落差の大きさを体感することにより、如何に褒めることが大切であるかを、やる気を引き起こす秘訣がここにあることをお互いに感じ合う体験をして頂いた。

お知らせ掲示板

12月例会に向けて

これからのきびの会について
みんなで話し合いましょう！！

来年度より岡山県も
「引きこもり地域支援センター」
を開設することを検討しているとのこと
岡山県はこれまで独自の対策を掲げ、私たちの
会に100万近い委託金を計上してきました。
しかし私たちは何か物足りなさを感じながら、
独自の活動をしてきました。これからどうする
か、会員さん 全員集合してください！！

NPO法人津山・きびの会

トトロの家の住所
708-0863 津山市小桁 137-2

固定電話は廃止しましたので、
連絡は私の携帯をお願いします

第4回トトロサロンは、10月23日（日）に
「収穫祭」を予定しています。実りの秋のご
馳走を皆で楽しみたいと思います。

連絡先 川島焔三 (090-7541-5263)

ご感想ご意見欄（9月例会）

*家族教室は少人数の会ではある
が思い切って意見と話し合いがで
きる良い集団だと感心した。

*言葉の力は元気が出る。事例と
して「けなす事」「ほめる事」の
ワークショップがあり、新鮮な気
持ちで学習できました。

毎年恒例の

たこ焼き大会

11月5日（土）11時～15時

場所：居場所

参加は無料！

お待ちしております



当事者学級

（AU会）

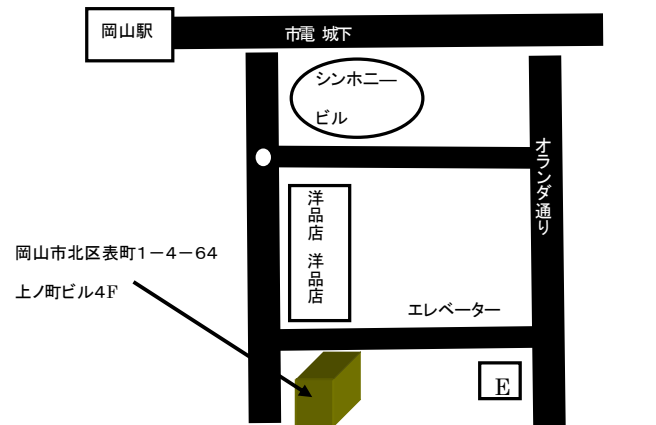
10月はお休みします。

11月は予定しております。

10月きびの会居場所・行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 父親学級 居場所
2	3 居場所	4	5 居場所	6	7 居場所	8 家族教室 居場所
9 月例会	10 居場所	11	12 居場所	13 健康教室	14 居場所	15 松田先生 居場所
16	17 居場所	18	19 居場所	20	21 居場所	22 若者学級 居場所
23	24 居場所	25	26 母親学級 居場所	27	28 役員会 居場所	29 居場所
30	31 居場所					

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則)第2土曜日 午後1時半～4時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則)第3土曜日 午前9時～午後6時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料金:会員は1時間3,000円 ※定員8名とさせていただきます

母親学級 (原則)第4水曜日 午後1時半～4時

当事者学級 (原則)最終日曜日 午後1時半～6時

父親学級 (原則)第1土曜日 午後1時半～4時

健康教室 (原則)第2木曜日午前11時～4時

若者学級 (原則)第4土曜日 午後1時半～6時

担当 大阪府療術師会会員 大塚桂子さん

役員会 第4金曜日 午後1時半～4時

関心のある方はどなたでもご参加ください

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日行) 平成28年10月30日発行 OSK増刊通巻482号

発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾739-1 綾部小百合 (TEL 086-298-1162)

無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)